

パクリタキセル・カルボプラチン療法

治療スケジュール

	外観	お薬名	薬の効果	スケジュール (点滴時間)	
				1日目	2-21日
1		ジフェンヒドラミン錠	アレルギーを抑える	内服 (パクリタキセル投与前)	お休み
2		グラニセトロン デキサメタゾン ホスアプレピタント ファモチジン	吐き気止め アレルギーを抑える	30分	お休み
3		パクリタキセル	腫瘍の増殖を抑える	3時間	お休み
4		カルボプラチン	腫瘍の増殖を抑える	2時間	お休み

☆点滴治療中に気をつけて頂きたいこと
＜アレルギー症状＞

*2回目以降でも出ることがあります。

*点滴2時間以内に出ることが多いです。

- ・ 息苦しい
- ・ 顔がほてる
- ・ 胸が痛い
- ・ 汗が出る
- ・ 心臓がドキドキする
- ・ 発疹が出る

このような症状があればすぐに看護師に伝えてください。

治療の副作用について

吐き気 嘔吐

個人差はありますが、点滴開始後1～4時間後より始まり、通常1～7日以内に治まります。

<対策>

- ・ 食べられるものを無理せず、食べられるだけ食べてください。
- ・ 水分をなるべく摂ってください。（スポーツドリンク、お茶など）
- ・ 脂っこい食べ物は消化に悪いので、適度に食べてください。
- ・ 気分転換に音楽を聴いたり、自分の好きなことをするのも良いです。
- ・ 吐き気止めの薬があるので、我慢せずに看護師に伝えてください。

骨髄抑制

血液の成分（白血球、赤血球、血小板）が低下することで、骨髄抑制は、治療後8～12日頃に起こりやすいです。

1）白血球が低下すると感染症を引き起こしやすくなります。

<症状>

- ・ 風邪のような症状（咳、熱など）
- ・ 膀胱炎のような症状（排尿時痛など）

<対策>

- ・ 人ごみを避けてください。（外へ行くときはマスクを付ける）
- ・ 外出から帰ったら、うがい、手洗いをしてください。
- ・ 傷をつくらないようにしましょう。
- ・ 入浴、歯磨きをしっかりと体を清潔に保つようにしましょう。
- ・ 必要に応じて、抗生物質や白血球を増やす薬を使うことがあります。

2）赤血球が減少すると、貧血症状（動悸、息切れ、だるさ、ふらつき）が起こります。

<対策>

- ・ ゆっくり起き上がるようにしましょう。
- ・ めまい、ふらつきがひどい時は、看護師に伝えてください。

3）血小板が減少すると、出血しやすくなります。

<対策>

- ・ やわらかい歯ブラシで、やさしく歯磨きしてください。
- ・ 鼻を強くかまないでください。

脱毛

個人差はありますが、投与3～4週間後あたりから毛が抜け始めます。脱毛は一時的なもので、投与が終了して6～8週間後ごろには毛が生え始め、約半年でほぼ回復します。

<対策>

- ・ 毛先のやわらかいブラシを使いましょう。
- ・ シャンプーは中性の刺激の少ないものを使いましょう。
- ・ スカーフ、帽子、かつらなどを使う方法もあります。

＊カツラのご相談は外来化学療法室看護師までお申し付けください。

神経障害（手足のしびれなど）

治療後2～3日から起こることがあります。投与の回数を重ねるうちに増強する場合があります。適切な対応とるために早めにご相談ください。また、日常生活に支障をきたすことがあればお伝えください。感覚の麻痺した手や足への切傷ややけどに注意しましょう。

筋肉痛・関節痛

関節や筋肉の痛みは治療2～3日後に、起こることがあります。ほとんどは一時的で5～6日以内に回復しますが、つらい時は痛み止めを使用したり、保温や冷却を行うのでご相談ください。歩行時は転倒に注意しましょう。

下痢・便秘

薬を使ってコントロールできます。下痢のときは水分補給に心掛けましょう。排便時は肛門周囲を清潔に保ちましょう。

間質性肺炎

頻度は非常にまれですが、重篤な副作用です。発熱、乾いた咳、息苦しさが見えたら、すぐに医師の診察を受けてください。

主な副作用を記載していますが、気になる症状があれば、担当医、薬剤師、看護師にご相談ください。